

公民館だより

題字：前衛書家「吉川壽一」先生

平成25年1月15日発行【第326号】

発行元
吉崎公民館
福井県あわら市吉崎 8-34
郵便番号 922-0679
電話 0776(75)1205
komin-yoshizaki@city.awara.lg.jp

除夜の鐘をつきに行く子ども達



あけましておめでとうございます。

暮れから雪に見舞われましたが、12月31日の大晦日、除夜の鐘が鳴りだす頃はずっと雪が積もりました。吉崎では毎年、浄土真宗本願寺派吉崎別院（西別院）、真宗大谷派吉崎別院（東別院）、吉崎寺、願慶寺と、4つのお寺で除夜の鐘が鳴らされます。みんなそれぞれ「鐘の音」が違い、個性のある「音」が響き渡ります。その音を聞き分ける人も今では少なくなっていました。

東別院では、雪化粧した石段に手作りの灯籠が並べられ、そこを多くの人が除夜の鐘を鳴らすために登って行きました。雪あかりに灯籠の灯り、風情ある景色を見て、いつもは登れない「鐘撞堂」の急な階段を上がると、子ども達の賑やかな声で活気が出ていました。

色々な願いを込め、4種類の「鐘の音」が響き渡る吉崎の夜。行く年を振り返り、来る年への願いを込めて、新しい年を迎えました。



1月27日（日）；吉崎地区通常総会；午後2時から（予定）

『今年も、吉崎の魅力を発信してまいります。』

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかで輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、公民館事業に多大なご協力とご支援をいただき心より感謝申し上げます。

今年も地域の皆様に親しまれ、信頼される公民館を目指してまいりますので、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、吉崎地区、浜坂区の発展と、皆々様にとりまして素晴らしい一年となりますようご祈念申し上げます。



吉崎公民館職員一同



『元 旦 祭』

お正月から雪に見舞われましたが、吉崎春日神社では元旦祭が執り行われました。

年と月日の3つが新しく蘇る元日、吉崎地区6区の新区長をはじめ、新氏子役員、厄年や長寿のお祝いの方々、一般参拝者などの参列をいただき、厳かに祝詞を奏上いたしました。

玉ぐしをささげる一人ひとりには、色々な思いや願い事がある事でしょう。小さな拝殿ですが、大勢の人のご参加のおかげで、熱気のある儀式となりました。

新役員の方々の心情が現れていたように感じます。

吉崎地区新役員の出立は難航しましたが、新たな年の始まりと共に、吉崎地区の新たな歴史の始まりを、地区民と一緒に盛り上げていきましょう！

『左 義 長 作 り』

1月6日（日）、前日の雪も上がり、毎年恒例の行事である左義長作りを各区の新区長さんや理事さん、新氏子役員の皆さん総出で行われました。

青竹を組み上げて骨格とし、その中に大量の藁をぎっしり詰め込んで作ります。稲藁を編んで化粧回しを作るだけでも大変な作業です。

稲藁を編んで作った化粧回しを、皆で廻りに巻きつけていきます。今回は未経験の新役員の方が多く大変でしたが、旧役員の桶谷さんのご指導もあり、悪戦苦闘の末、出来上がりました。

歴史と文化を守り伝承していく事は、みんなの気持ちが一つになっていかないと出来ないものだと再認識させられる時間でした。



『公民館大掃除』

今年一年の汚れを綺麗にする公民館大掃除の期日が、衆議院総選挙投票日と重なった為、昨年未の、12月23日(日)に行いました。

恒例とはいえ、日頃より自分たちが利用している公民館をみんなで掃除をしようと、各教室受講生はもとより、吉崎地区区長会、吉崎青壮年団、吉崎体協、吉崎子ども会、慰霊碑奉賛会など、各種団体の皆さんも参加され、ガラス拭きや換気扇、エアコンフィルターなど、普段手の回らない処を、隅から隅まで掃除をしていただき、見違えるように綺麗になりました。

また、各種団体の保有物が入っている「押入れ」や「二階物置」の整理も同時に行い、使いやすく片付くことができました。これで、清々しい気分での新しい年を迎えることが出来ました。

年末の大変お忙しい中、日曜日にも係わらず早朝からお集まりいただき、多くの方にご協力いただきましたことに、公民館職員一同、感謝申し上げます。

ありがとうございました。



『道路幅が、広くなりましたよ!』

吉崎小PTA保護者の皆さま、近隣の皆さまはすでにご存じの事と思いますが、吉崎公民館前の道路拡幅工事が完成しました。路肩や側溝をやり直す大がかりな工事でしたが、本当に通りやすくなり、子供たちの安全な通学路と災害時の避難路として、重要な機能を持つ道路が使いやすくなりました。

工事期間中はご不便をおかけしましたが、これで車も余裕を持ってすれ違う事ができ、危険な場所が少なくなりました。ご協力ありがとうございました。



『吉崎の魅力を!』

神戸市東灘区老人会リーダー研修会

小雪が舞い寒さが厳しさを増した12月20日(木)、神戸市より東灘区老人会リーダー研修会の一行、約60名が吉崎に立寄りしました。

会長さんによると、あわら市観光協会から、吉崎をご紹介され、是非とも吉崎を訪ねたいと思ったそうです。

今回、天候の影響により国指定史跡「吉崎御坊跡」をご案内できず大変残念でしたが、汀公園で山本館長より吉崎の自然や歴史・文化について簡単に説明がありました。その際、皆さん冬の「鹿島の森」の景色に目を奪われていた



ようで、旅のスタートとしては良い印象を持っていただけたと思います。

なお、その後一行は、本日の宿泊先である芦原温泉「グランディア芳泉」にて、公民館が取り組んでいる「歴史と文化をつなげるまちづくり」をテーマにした講演を、山本館長が行いました。

【吉崎再発見】34 ～吉崎参りの歴史街道を行く～

❀ 「吉崎道を飾る一字一石墳」

「嶋谷山の切通し」から吉崎に向かって歩いて行くと、一字一石墳と地蔵堂、聖徳太子堂が一ヶ所に集まっている所があって吉崎道の名所となっています。

一字一石墳とは、お経の一字一字を、一個ずつの石に書いた経文石が埋蔵してある経塚です。

この経塚は、明治18年9月に福井市の永田市兵衛が仏恩報謝のために無量寿経、観無量寿経、阿弥陀経の浄土三部経の一字一字を、一個ずつの石に書き写して土中に埋蔵し、その上に石碑を建てたものです。

碑の側面には、「布施無くて 石に経文かくときは、南無阿弥陀仏を布施に唱えよ」と書かれてあり、隣の太子堂の中には聖徳太子（御年16歳）の石像がおまつりしてあります。

遠く白山連峰を眺め、ここで一休み、あらためてこの街道を行き交った多くの先人たちに想いを馳せると、万感胸に迫るものがあります。

ここより、山代・山中ゴルフ場を右手に見てなだらかな坂道を行くと、まもなく吉崎の家並みが見えてきます。

今も変わらず四季の移ろいに合わせて趣をかえてゆく「吉崎参りの歴史街道」、その同じ道をしててく歩いて迎れば、悠久の歴史を流れる風が涼やかに頬をなで歴史ロマンを感じることが出来ます

あなたも、ぜひ訪ねてみては如何でしょうか。

- あわら市の歴史と自然をめぐる旅にお越しの際には、ぜひとも足をのばして頂きたいスポットの一つです。



【吉崎公民館 ・ : 0776-75-1205】

『皆さんの初詣は如何でした！』

お正月、初詣に行きましたか。1月6日（日）、友達と安宅住吉神社に初詣に行って来ました。

松の内も過ぎての初詣、さすがは6日ともなると参拝者もまばらです。本来は1月15日（小正月）までが松の内でしたが、現在では1月7日までというのが一般的だとか、1月中の参拝も初詣とする考え方もあるとのことで一安心。

安宅住吉神社は、住吉三神（底筒男命・中筒男命・表筒男命）を祀った神社で「安宅の住吉さん」として親しまれ、開運厄除、交通安全、縁結び、また源義経、弁慶一行が無事関所を突破し奥州平泉へ落ち延びた故事から難関突破の神として知られています。

本社殿を参拝し、境内にある金比羅社、稲荷神社、関ノ宮を巡りました。

その後、裏手に広がる松林をぬけて、荒波が吹き寄せる安宅海岸へ、寒風の中、こうした松林の広がる冬の海岸の景色も新春らしくていいですね。

今年が、よい1年でありますように・・・！（板谷）



シリーズ「この人に聞く」9

『あわら三国ライオンズクラブ』 会長 西田 芳夫

(あわら市春宮1丁目在住)

子供の未来は みんなの未来 「吉崎への想い・・・」

あわら三国ライオンズクラブは、ここ数年(末富攻会長時より)御山の植樹をお願いし、過日の11月19日には、新入学生の辰巳緒花ちゃんの記念植樹と句会に参加させていただきましてありがとうございます。

その折には校長先生、教頭先生はじめ先生方と桶谷洋治さん、四方政美さんにはお世話になり感謝申し上げます。又、ライオンズクラブの植樹の際には巻埜守さんにも大変お世話になり重ねて御礼申し上げます。来春も植樹予定していますので宜しくお願いいたします。

小春日和の中での記念植樹と句会でしたが、かわいい辰巳緒花ちゃんのお礼の言葉の中で「大きくなっても、お嫁さんになっても見守っていきます。」と言っただき、うれしく且つ吉崎の方々の学校は、よい伝統を継承されているな～と感じ、うらやましく思いました。

私は11月で満65歳になりましたが、吉崎に最初に寄せていただいたのは、金津小学校の高学年の時にお寺さんへのお礼にお米を持っての臨海学習での時でした。宿坊に泊めていただき塩屋で泳ぎましたがその時の印象は水泳訓練より、赤いカニと、鹿島の森探検、夜にお聞きした血染めの経典、嫁おどしなど吉崎の伝承でした。残念ながら私の二つ下の弟の時は、杉津だったそうでその話は聞いていません。子供たちには地元をよく知り、誇りを持って、地元を守り、国内外へと飛躍して欲しいものですね。

20歳代には、金津町民体育祭の「吉崎ブロック」は常に優勝、上位にあってスゴイ!と思っていました。37歳の時、PTAの会長会議の際、「吉崎小学校の簡易保険手数料が児童数37名で137万円余りです。」と鮎田会長さんよりお聞きしました。同じ会長として地元の方々の絶大なご支援に頭が下がりました。39歳の時、「吉崎舟まいり」事業の際、地元の方々のこれまでの継承の一端に触れ、「三国・芦原・金津青年会議所(JC)の出来る事は何か!」の原動力となりました。故右谷昌澄さん、故山下栄治郎さん、現館長の山本篤さんはじめ、大勢の吉崎の方々と会議を重ね、舟のこぎ方なども指導していただきました。小松駅から武生駅にポスター掲示の許可が下りた事をはじめとし、諸団体、企業、個人の方々に協賛金、その他のご協力が得ることが出来た事も地元吉崎の方々の熱意だったと思います。その準備中の事、鉢木先生が毎日のように御山を清掃されておられるお姿には、まぶしいものを感じました。

金津町立統合中学校第1期生(吉崎教場、館山教場、金津教場の別校舎時代)の私としては、これからも、近隣地域の方々と交友関係が深め、歴史文化を学び誇りにしたいと思います。市内でも地震前の面影を多く残す吉崎・・・、夕映えの海、湖、森、そして蓮如さん・・・。いいとこですね。

吉崎の未来と現状に大きな役割もつ公民館活動、皆様の益々のご活躍を期待しています。



駐在さん、だぁ～い好き！ -その7-

吉崎駐在所の木下寛幸です。

今月は、雪道を運転する際の注意点についてお話しします。

皆様はブラックアイスバーンというのをご存知ですか？ブラックアイスバーンとは、路面が一見雨の日のように濡れていて黒く見え、実は凍結している状態のことをいいます。

路面に積雪がなくても凍結することがあることを忘れずに安全運転に心掛けてください。

基本的なことになりますが、

- ・ 車間距離を充分にとる。
- ・ エンジンブレーキの活用。
- ・ カーブへの進入では確実に減速。
- ・ 急ハンドル、急加速、急減速を行わない。
- ・ 視界の悪い場合は、昼間でもライトを点灯する。

以上のことが、重要です。

また、運転前には必ず車の上の雪を落とし、窓ガラスの曇りを除去してください。



『除雪を妨げる!違法駐車』

北陸地方は、昨年のクリスマス寒波、年末の積雪で除雪車が出動しました。

除雪の際の迷惑駐車は、除排雪作業などの大きな障害になるのはもとより、道路を狭くして通行の妨害になります。また、交差点付近の駐車では、事故の原因ともなります。消防車や救急車など緊急車両の活動を妨げます。駐車車両の直前や直後から幼児や児童の飛出しによる歩行者事故などの原因にもなります。このように、住民に迷惑を掛け区民の生活にも重大な影響を与えます。

除雪を妨げる違法駐車は、やめましょう！



【今月のことば】福聚海無量 (ふくじゅかいむりょう)

「観音経」というお経の中に、この「福聚海無量」という言葉が出てきます。「福の集まり来ること海山のごとく量り知れなくめでたい事が限りなく多い」ということです。

茶席の「軸」では、「聚」の漢字が「寿」と著され「福寿海無量」とされている事がありますが、吉祥文字で福とか寿を用いますのでおめでたい時に使われるようです。

人間の求める5つの福は、「寿命が長い、富を得る、病気をしない、徳が高い、天寿を全うする」と、中国の「書経洪範」に述べられていますが、福とは「禍」がない事を著しています。

「福」はたくさんあります。人それぞれの感じ方が色々ありますが、世界中の人々に「福」が訪れるように、平和な社会を作りたいものです。(挿絵：小坊主つばめ)



シリーズ The 時代 『吉崎の変遷を辿る～明治時代以降～』

その1 (吉崎の郷土誌より抜粋)

慶応3年10月(1867)、15代将軍徳川慶喜の大政奉還により、260余年にわたり続いた徳川幕府も終り、鎌倉幕府以来600年間も続いた武家政治が終わった。翌年、明治元年12月9日(1868)、王政復古の詔書換発により明治維新の大業が発足した。

明治2年に諸大名が、土地人民を朝廷にお返しする版籍奉還が行われ、全国261の藩がそのまま県となり、それまでの政府直轄府県と合わせて3府302県になった。福井県域(越前)には、明治3年12月に旧幕府直轄地に成立した本保県と合わせて、翌年の明治4年7月に福井藩を含む9の県が成立する。このうちの郡上、西尾、加知山の各県は福井県域外に県庁のある飛地であった。

吉崎は明治維新まで福井藩の所領だったが、福井藩が明治4年7月に廃止になり明治14年2月に越前と若狭を併せた福井県が創立されて、吉崎は福井県の吉崎となる。

長い藩政時代が終わって、明治7年4月に3度目の大改正が行われた。当時の吉崎浦(吉崎)は第十四大区二十五小区で戸数は407戸で、戸長は伊藤丈太郎。

明治4年に成立した敦賀県は、明治9年8月に廃止となり石川県に統合され、第十四大区長、荒川団治は吉崎の字限絵図を石川県令に報告した。

その頃の吉崎の「字限絵図」が現在、あわら市税務課にあり、明治9年当時の各小字の状況がわかる。明治11年12月になると、「郡区町村編成法」が制定されて区制を廃止し郡と町村を設置し、郡に郡長を、町村に戸長を置くこととし、翌12年5月からこれを実施した。

坂井郡役所を坂井港大門町(三国)に創設し、丸岡町の森川秀男が初代郡長に就任した。これまでは単に地理的名称であった坂井郡が改めて行政区画となり、町村制の土台が確立した。この郡制の実施によって、各町村の戸長が戸長役場で一般の事務をとることになった。このことは、村(現在の区)が行政の最小単位に復活したことで戸長役場には戸籍簿、地券台帳などを備え、納税と戸籍事務を処理して、一々郡役所へ届出たのであるから郡役所も煩雑で大変であった。

明治17年4月、市町村制実施のための準備として、いくつかの町村を一まとめにする「区域行政区画」を計画し町村連合戸長役場を設置し、同年7月戸長を官選とした。明治18年吉崎浦の場合は「吉崎浦」一カ村戸長役場で、戸長は伊藤丈太郎であった。村財政は、戸数がまだ147戸であったから、18年度予算額は147円76銭8厘。こうして、19年度から連合村の予算を計上した。その戸数、468戸、予算額185円59銭5厘となっている。

政府は三新法(郡区町村編成法・府県会規則・地方税規則)を制定して地方に自治権を与え、地方制度の調査を進めてきたが、府県・郡とも行政機関としての色彩が強く町村は地方自治体としても不十分であった。そこで、政府は自治体としてふさわしい制度に改革すべく調査をすすめて、明治21年4月に「市制及町村制」を公布した。これによって、市町村を自治体として公選議員をもって市町村の議会を組織し、その議決を執行する行政機関の長も公選するという近代的な地方自治制度が実現した。この町村制は、明治22年4月1日から施行され、坂井郡の390カ村は改めて3町28カ村に統合された。

明治維新以来、町村の分合と町村名の変更は度々行われたが、大きな変動のあったのは、明治7年と同22年の2回である。



【ふるさとクロスワード】

* 答えの解った方は、公民館まで連絡して下さい。正解者には、年度末に素敵な賞品が当たる抽選券を差し上げます。

(×切は平成25年2月10日) 先月号の回答は「シヨウジ」で、Cの「張り替え」でした。

今月の問題

パズルの中のAからDの4文字を並び替えて組み合わせ、ある人名にして下さい。その人と一番関係のある宗教は、下の3つのうちどれでしょうか？

(A ; 浄土真宗、 B ; 天台宗、 C ; 曹洞宗)

1	5	7	10	12		16
	6			C		
2					14	
	A	8		13	D	
3						
		9	11		15	
4			B			

【よこのヒント】

- ① : 豊臣秀吉の近臣「石田三成」は、秀吉の〇〇として登用されました。
- ② : ゼロのこと。
- ③ : このクロスワードパズルの締め切りは、〇〇10日です。
- ④ : あわら市のアイリスブリッジは〇〇公園にあります。
- ⑥ : 今年の初詣で〇〇のお守りを購入しました。運が開けることを期待して・・・
- ⑧ : 手回り品や金子などを入れる箱の事。
- ⑨ : あわら市細呂木から、旧北陸道で加賀市に入ると、加賀市奥谷町の〇〇畑が一面に広がってきます。
- ⑭ : 一群の人の中で、かしらだつ者を〇〇と呼びますが、蓮如上人の御文(御文章)は、識字率の低い時代、村〇〇や長老、坊主によって、村人に読み聞かされていました。
- ⑮ : 今は冬。生ごみなどにたかる〇〇はどうしているのでしょうか？5月の〇〇はうるさいです

【たてのヒント】

- ② : 4月23日から、あわら市吉崎では〇〇が始まります。5月2日までです。
- ⑤ : 田舎の対語は、〇〇人口が密集している場所です。
- ⑦ : 淡水産の硬骨魚。側線鱗が36枚あるというので「六六魚(りくりくぎょ)」とも呼ばれる。北湯湖にもいます。
- ⑧ : 室町末期の武将で、三好長慶の家臣〇〇久秀は、第13代将軍・足利義輝を永祿の変で自殺させ、後に織田信長によって敗死しました。別名「〇〇弾正」。
- ⑩ : 神棚にお参り、仏壇にお参り、どちらも〇〇に火をつけてからです。
- ⑪ : 上の反対。
- ⑫ : 鉄砲の事を英語で〇〇。
- ⑬ : 1467年、京都を丸焼けにした「応仁の〇〇」。その4年後、蓮如上人は吉崎に来ました。
- ⑭ : お母さんのお姉さんは、〇〇さん。
- ⑮ : お母さんは、〇〇。
- ⑯ : 毎年7月の「吉崎湖畔の夕べ・夏まつり」。その主会場となるステージが作られる公園名は？吉崎〇〇。

お知らせ



- | | | |
|----------|---------------|---------|
| 1月20日(日) | 浜坂区総会 | 13時(予定) |
| 1月27日(日) | 吉崎地区通常総会 | 14時(予定) |
| 2月2日(土) | 吉崎体協主催ボーリング大会 | (予定) |
| 2月3日(日) | 吉崎青壮年団総会 | |

← 吉崎公民館の玄関先ロビーの天井に、可愛い「ふくろうさん」が飾られています。講座生の有志の方の作品ですが、公民館に来る人の心を和ませてくれています。是非ご覧ください。